

2022 春
No.76
広報誌

ご自由にお持ち帰りください

ひまわり



(臨床研修医 1 年目 手術用手袋脱着の様子(実習))

- 特集 ① 院長退任のご挨拶
- 特集 ② 院長就任のご挨拶
- 特集 ③ 新任医師のご紹介

病気のお話「最近の脳梗塞と脳動脈瘤の治療」について

脳神経外科 センター長 古明地孝宏

- ・忘れられない看護エピソード
- ・認定されました！乳がん看護認定看護師&特定看護師
- ・栄養士イチオシ！～春の旬野菜～

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、全館面会禁止としております。



〒073-0196 北海道砂川市西4条北3丁目1番1号
TEL 0125-54-2131 FAX 0125-54-0101
E-mail info@med.sunagawa.hokkaido.jp



ホームページ

診療のご案内

通常の受付時間 (※午後の受付時間は各診療科をご覧ください。)
午前 8:15~11:00 午後 13時15分~16時00分 令和4年4月1日現在

診療医師(出張医含む)・受付時間は都合により変更となる可能性がありますので、受診前に詳細についてはお問い合わせください。

	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
1フロア	小児科 午後受付時間 13:15~16:00	菊地 新崎(有)	橋野 出張医:第3週 小児腎臓外来	橋野 新崎(有) 出張医:第2・4週 心臓外来	菊地 出張医:第2・4週 心臓外来	新崎(有)	原田(な) 出張医:第1・3週 内分泌外来	原田(な) 新崎(有)	1ヶ月健診 成長発達外来 (予約診療のみ)	橋野 新崎(有)	原田(な) 出張医(第2週) 神経外来
	心血管外科	宇塚 15:00まで				佐々木(昭)	内山			梅田	
呼吸器外科											札医大出張医
脳神経外科	古明地								大瀧		ローテーション
脳神経内科	山本(大) ※完全予約制	大橋 ※完全予約制	野中 ※完全予約制	蛭子 ※完全予約制	安藤(玲) ※完全予約制	田中(聡) ※完全予約制	山本(大) ※完全予約制	野中 ※完全予約制	大橋 ※完全予約制	野中(11:00より)	
	田中(聡) (11:00より)		安藤(玲) (11:00より)		大橋(11:00より)		蛭子(11:00より)				
整形外科	明戸(9:30より)		出張医						出張医		
	鍋城 向井		佐々木(幹) 宮野		明戸 宮野		鍋城 佐々木(幹)		向井 宮野		
消化器外科	横田 (医師不定)		山田 (医師不定)		浜田 (医師不定)		島田 (医師不定)		竹元 (医師不定)		
	手術依頼外来 (1日1枠)										
乳腺外科	馬場					馬場 13:30~15:00	馬場	馬場 13:30~15:00			
内科 (総合) (消化器) (呼吸器) (血液) (糖尿病・脂質代謝) (膠原病) 午後受付時間 (再診・予約のみ) (13:15~15:00)	吉田(行)(消化器)		北大出張医(総合)		吉田(美)(総合)		吉田(行)(消化器)		室谷(糖尿病) 第2週のみ 森谷(糖尿病) 第4週のみ		
	大野(総合)		中村(文)(総合)		日下(総合)		佐々木(賢)(総合)		日下(総合)		
	小熊(総合)		新崎(人)(血液)		東(総合)		新崎(人)(血液)		中村(文)(総合)		
	木村 (総合診療科) 堀井 (総合・呼吸器)		木村 (総合診療科) 小熊(総合) 第2・4週のみ		旭医大出張医(糖尿病)		研修医(総合)		木村 (総合診療科)		
					旭医大出張医(総合)		岸田(総合)		旭医大出張医(総合)		
呼吸器内科 午後受付時間 (再診・予約のみ) (13:15~15:00)	廣海		渡部		廣海		渡部		堀井		
心療内科									橋本 (完全予約制) 内科7番診察室		
循環器内科	清水(9:30より)	予約診療のみ ペースメーカー外来 小泉(出張医) 14:00~17:00	平林(9:00より)	松谷(9:30より) 予約診療のみ	川上 片野	予約診療のみ ペースメーカー外来 伊藤(出張医) 14:00~17:00	清水 佐々木(風) 片野 (隔週)	予約診療のみ 天満(出張医) 14:00~17:00	松谷(9:00より)	佐々木(風) (9:30より)	予約診療のみ
	伊東 川原(弘)	検査・予約			加藤(明) 川原(弘)	加藤(明)・ 川原(弘) 14:00~15:30	加藤(明) 伊東		加藤(明) 川原(弘)	加藤(明)・ 川原(弘) 14:00~15:30	
産科	宇田		安藤(里)		五十嵐		山本(竜)	産後検診	山口		
婦人科	山本(竜)		山下		安藤(里)		宇田		五十嵐		
助産師外来	10:00~16:00		10:00~16:00		10:00~16:00		10:00~16:00		10:00~16:00		
泌尿器科	柳瀬 吉田 國島		村中・吉田 出張医 國島		村中 國島 吉田		吉田 國島 村中		柳瀬 村中 國島		吉田
	木川(初診) ※完全予約制	もの忘れ専門外来 (再診予約のみ) 15:30~16:30	畠山(再診) 小林(再診) 高橋(初診) ※完全予約制	予約診療	畠山(再診) 高橋(再診)	予約診療	畠山(初診) ※完全予約制	安村 神経学的 検査(13:30より)	高橋(再診)	もの忘れ専門外来 (予約のみ) 13:30~16:30	予約診療
形成外科	加藤(慎)		原田(二)	シミ・脱毛外来 15:00まで 原田(二) ※完全予約制			加藤(慎)		原田(二)		
皮膚科	阿部 松江	特殊検査	松江 鎌田	阿部・松江 14:00~15:30	阿部 鎌田	特殊検査	松江 鎌田		阿部 鎌田	阿部・松江 14:00~15:30	
	太田 横山		太田 横山	レーザー手術	太田 横山		太田 横山	レーザー手術	太田 横山	レーザー手術	
麻酔科	雨森(9:30より) ペインクリニック 術前診察		ローテーション 術前診察		ローテーション 術前診察		ローテーション 術前診察		丸山(9:30より) ペインクリニック 術前診察		
人工透析外科	村中9:00~14:00	柳瀬14:00~19:00	柳瀬9:00~14:00		柳瀬9:00~14:00	國島14:00~19:00	柳瀬9:00~14:00		吉田9:00~14:00	柳瀬14:00~19:00	
放射線治療科	長谷川	治療計画	長谷川	治療計画	長谷川	治療計画	出張医	治療計画	長谷川	治療計画	
救急科	福井		福井		川原(翔)		田中(祥)		田中(祥)		
リハビリテーション科 (予約診療)											大田(旭医大教授)入院患者のみ予約診療
歯科口腔外科	中村(裕)・加藤(泰)		中村(裕)・加藤(泰)		中村(裕)・加藤(泰)		中村(裕)・加藤(泰)		出張医		
緩和ケア外来(予約診療)		精神症状(要予約) 随時(地域連携棟3号 木川)	緩和ケア全席 9:00~12:00 横田								

手術 予約検査 赤字は女性医師です

◎ホームページからでも診療のご案内をご覧いただけます。



Facebook

Instagram

日本医療機能評価機構

広報誌 ひまわり2022 春号

No.76 令和4年4月28日発行 発行・編集：砂川市立病院 広報委員会(経営企画課企画係)

発行所：ふじ印刷

特集1

院長退任のご挨拶



前院長 田口 宏一

令和4年3月31日をもって砂川市立病院を退職いたしました。本来であれば定年が延長され、あと2年間の勤務予定ではありましたが、元々65歳での定年を考えていたことや60歳を過ぎても心身ともに老化が進んでおり、今が辞め時と判断した次第です。

医師として40年間勤め、当院には平成8年に外科医長として赴任しました。それまでは、北大で2年程度の研究期間のほか臨床医として主に道北・道東の公立病院に勤務し、一般外科・消化器外科・乳腺外科・地域によって整形外科や呼吸器外科の診療・手術などを行っておりました。

麻酔科医がいないので、手術時の麻酔や全身管理は自分で行いながら手術を行うため、かなり大変でした。砂川市立病院に来てからは、麻酔科医が麻酔や手術中の全身管理をしていただけなので（現在では当然のことなのですが）、手術に専念でき非常に助かりました。また、現在のようにならざるを得ない状況で、胆嚢・胃・大腸・肝・胆管・系の悪性疾患の手術や抗がん剤治療、カテーテルを用いた血管内治療などを行っていた外傷による腹部損傷や血栓などによる腸管の壊死による損傷、潰瘍などの穿孔による腹膜炎などの緊急手術なども担当し、甲状腺や乳腺などの悪性腫瘍や鼠径ヘルニアなどの良性疾患など多岐にわたり診療しました。

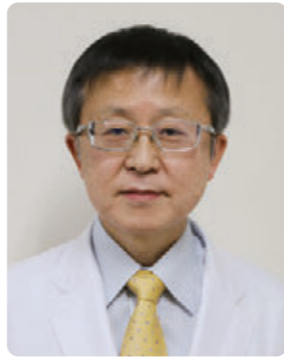
平成16年から緩和ケアチームが結成され、がん患者さんの症状緩和に向けた取り組みを開始しております。翌年からは地域医療連携室ができて、ほかの医療機関や施設との医療連携を推進し、一般市民に対する啓もうを目的に、がんに関する市民講座を年間2〜3回を約10年間行いました。これは、色々ながんについて各専門医に講演していたのですが、後半からは病院の職員が出演するミニ映画を作成して、がん治療の選択や終末期のあり方、安楽死などを含め、皆様に考えてもらう機会を作りました。平成30年に院長に就任しました。臨床は外来と週に1回の回診程度で、ほとんどが病院全体の管理職としての仕事をなりました。多くの職員をかかえる組織なので、様々な問題が起こり平林事業管理者と共に苦しみながら対応してまいりました。令和2年の1月過ぎから新型コロナウイルスが猛威を振るい、当院でも多くの患者さんや疑わしい患者さん、治療方針もわからず、不安と恐怖の中で、職員も感染対策を徹底し、



底すること院内ではクラスターが発生することもなく経過しました。現在は、オミクロン株による感染者が未だ多い状況ですが、皆様も感染対策を十分行ってお過ごしください。地域の皆様、市立病院の職員の皆様、永い間、大変お世話になりました。砂川市立病院が今後も地域の皆様に愛され、信頼される病院として続いていくことを祈念いたします。

特集2

院長就任のご挨拶



院長 日下 大隆

院長就任にあたりまして、ご挨拶させていただきます。私は平成元年10月から当院に勤務し、今年で33年目になります。赴任当時の砂川市の人口は24,000人台でした。令和4年を迎えての人口は16,000人台まで減少しています。ですが、この中空知医療圏全体で65歳以上の高齢者の人口数は今まさにピークを迎え、75歳以上の後期高齢者人口数は2025年にピークを迎えると予想されています。医師の地域偏在が問題になって久しいですが、中空知医療圏で医師数を

はじめ医療職員数の減少が続いており、ますます厳しくなっております。医師数は、外科・小児科が減少し、産婦人科は伸び悩み、さらに内科も増えています。高齢者が増加している中で、この地域の医療は十分とは言えません。地域医療の求めに應えるためには、各々の医療・介護・福祉・行政機関の連携が不可欠です。この地域でこれまで築いてきた砂川市地域包括ケアネットワークシステム（砂川みまもりんく）や中空知医療連携ネットワーク（そら・ねっと）は各病院や診療所・介護・福祉施設・薬局などに届いており、より一層活用することで密な連携が可能になります。情報を共有し、必要な治療・介護やアドバイスをする関係を構築していきたいと考えています。

このような医療環境の中にある当院の置かれた状況を考えると、地域医療に携わる人材を確保し、若い医師やコメディカルを育てていくことが地域で求められている医療を安定的・継続的に行ううえで最も優先されるかと考えます。当院には意欲のある初期・後期研修医が多く集まって研鑽しており、核となる医師を配置し、そのうえで研修医が地域に根差した実践的な医療ができるようにしていきたいと思っております。若い医師や看護師など医療従事者を育てていくには地域に住む皆様のご理解が重要と考えます。改めてご協力お願い申し上げます。これまでの高度急性期・救急・専門的医療を維持し、がん診療連携拠点病院としての機能を発展させ、日常の生活活動の向上や在宅復帰を目指した

医療・リハビリを提供する回復期機能を高めることも目指します。さらに在宅医療へ一層関与していきたいと考えています。

高齢者が住み慣れた地域で様々な支援を受けながら安心して暮らしていけるようにする、それらの対策が喫緊の重大事です。まずは当院の医療環境を一層整え、地域支援を充実させることが住む人の安心につながると思ひ、改善していきたいと考えています。



特集 3

令和4年4月 新任医師のご紹介

消化器外科 医師 浜田 卓巳



4月から岩見沢市立総合病院より赴任してきました。地域医療に貢献できるよう尽力いたします。よろしくお願ひします。

消化器外科 医長 島田 慎吾



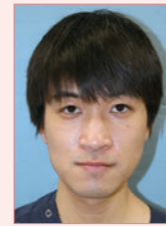
島田慎吾と申します。肝胆膵疾患の外科治療を専門としています。何かありましたら、気軽にお声がけくだされば嬉しいです。

小児科 医師 原田 なお



札幌医科大学附属病院より赴任いたしました小児科の原田と申します。地域の子どもの笑顔のため、精いっぱい頑張らせていただきます。至らない点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

内科 医師 佐々木 賢太



本年度より砂川市立病院で勤務させていただくことになりました佐々木賢太と申します。出身は札幌市です。精いっぱい精進いたしますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

内科 医師 大野 優也



このたび、砂川に赴任となりました内科の大野と申します。皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

内科 医師 東 陸



砂川市立病院での初期研修を終え、3年目から内科医として砂川市立病院に勤めることとなりました。若輩者ですが地域に貢献できるよう精いっぱい努めますので、よろしくお願ひします。

整形外科 医長 鍋城 尚伍



札幌医科大学から赴任してきました。膝関節疾患や外傷を中心に診療していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

乳腺外科 医長 馬場 基



3年間神戸大学病院に在籍し、3年ぶりの北海道に戻ってまいりました。その前は北海道大学病院におりました。今回細田先生の後任としてまいりました。精いっぱい乳癌診療に携わりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

消化器外科 医師 竹元 小乃美



専攻医の竹元と申します。まだまだ未熟で至らない点も多々あるかと思ひますが、地域の医療に少しでも多く貢献できるよう日々努力していく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

精神科 部長 畠山 茂樹



3度目の砂川勤務となります。もう若くありませんが、これまでの経験を生かし、広い視野で地域医療に貢献できるよう微力を尽くしたいと思ひます。よろしくお願ひします！

総合診療科 医師 山崎 孝明



道立羽幌病院での2年間の研修を経て、4月から砂川市立病院に赴任することになりました山崎孝明と申します。地域の皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。よろしくお願ひいたします。

呼吸器内科 副医長 堀井 洋志



5年ぶりに砂川市立病院に赴任することになりました。呼吸器内科医として地域の皆様に貢献できるよう頑張ります。

形成外科 医長 加藤 慎二



7年ぶりに砂川に赴任してまいりました。地域の医療に貢献できるよう、尽力いたしますのでよろしくお願ひいたします。

整形外科 医師 明戸 瑞樹



滝川市立病院から赴任してきました。地域の皆様のお役に立てるよう努めていきます。どうぞよろしくお願ひします。

整形外科 医師 向井 力哉



市立室蘭総合病院より赴任いたしました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

脳神経内科 医長 野中 隆行



札幌医科大学より赴任いたしました野中と申します。至らない点もあるかと存じますが中空知の医療に貢献できるように尽力したいと存じます。何卒よろしくお願ひいたします。

脳神経内科 医長 山本 大輔



脳神経内科の病気は治療が難しいことも少なくありませんが、その中でどう生活していくか患者さんと一緒に考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

精神科 医師 小林 又三郎



鹿児島県立大島病院より赴任することになりました精神科の小林と申します。北国の寒さに負けず、皆様のお役に立てるよう精いっぱい頑張ります。よろしくお願ひいたします。

皮膚科 医師 松江 亮範



苫小牧市立病院にて2年間の初期研修を修了し、今年度から砂川市立病院に赴任となりました。至らぬ点も多々あるかと思ひますが、地域の医療に貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

心臓血管外科 医師 梅田 璃子



4月からこちらで働かせていただくことになりました。初めて砂川に住めるのを心待ちにしております。若輩者ではございますが、地域医療を担う一医師として、真摯に日々研鑽を積んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

形成外科 医師 原田 二郎



3年ぶりに砂川市立病院へ戻ってきました。地域の皆様に貢献できるよう精いっぱい取り組んでまいります。

循環器内科 医師 川上 慧



今年度より赴任いたしました循環器内科の川上慧です。微力ながら砂川市の医療に貢献できればと考えております。よろしくお願ひします。

脳神経内科 医師 田中 聡泰



このたび、砂川市立病院に赴任することになりました脳神経内科の田中と申します。皆様のお役に立てるよう尽力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

脳神経内科 医師 蛭子 育美



王子総合病院より赴任しました脳神経内科の蛭子育美と申します。砂川の皆様が安心できる医療を提供できるように頑張りたいです。よろしくお願ひします。

産婦人科 医師 安藤 里沙



このたび、砂川に赴任となりました産婦人科の安藤里沙と申します。地域の女性医療に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

産婦人科 医師 山本 竜太郎



北海道大学から赴任となりました産婦人科の山本と申します。空知地方の安全なお産と女性の健康を守るよう精いっぱい頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

泌尿器科 医師 吉田 敬



後期研修医3年目の吉田です。皆様のお役に立てるよう努めてまいります。地域医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願ひします。

小児科 医師 橋野 健



知識・技術だけでなく、体力・フットワークの軽さを生かして地域医療に貢献させていただきます。

循環器内科 医師 片野 瑠生



砂川市立病院での2年間の初期研修を修了し、引き続き砂川で循環器内科後期研修医1年目として赴任いたしました。至らぬ点も多々あるかと思ひますが、精いっぱい頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

循環器内科 医師 佐々木 颯



同病院にて研修医として、2年間お世話になった経緯があります。また、この病院で働けることを嬉しく思ひます。少しでもお役に立てるよう頑張ります。

私が忘れられない看護エピソードは、コロナの患者さんを受け持ちました。その患者さんは50代と若かったのですが、コロナウイルスに感染し重症化リスクが高く、いつ挿管(注1)してもおかしくない状況でした。入院時より医師からは「いつ挿管になってもおかしくない。しかし、挿管したからといって治る可能性が100%ではない。病状によっては抜管が見込めない可能性がある」と説明を受けていました。その話を聞いて患者さんは「そんなに悪いと思わないんだけどな。しなくても良くなつていくんじゃないの?」と話していました。コロナ患者は、病状が悪くても自覚症状が乏しいことが一つ挙げられています。この患者さんもその中の一人でした。医療者から見ると苦しくないことが不思議なくらい

い状態であるにも関わらず、自覚症状が乏しいため治療やケアの重要性を十分に理解してもらえない印象を受けました。その中である日、本人の呼吸苦が悪化し「今、挿管しなければ手遅れになり、もし、良くなつたとしても後遺症が残ってしまう」という状態になりました。医師から挿管の必要性とリスクについて再度説明を行い、患者さんは時間が欲しいと話したため医師は一度退室し、私が患者さんと話をすることになりました。患者さんは以前より話していたとおり「口から管は入れたくない。もし抜けなくなつたことを考えると怖い。でも死にたくない」と思いを表出してくれました。自分はその思いをくみ取り、自分なりに再度挿管の必要性とリスクについて患者さんにわかりやすく嚙

み砕いて説明をしました。それでもその患者さんは挿管に対する恐怖心が強く最後まで「挿管したくない」という思いが強い方でした。私としては「患者さんはまだ若く、挿管することのメリットが大きいならしたほうが良いのではないかと。でも、患者さん自身はしたくないと言っている。どうすることが患者さんにとって最善となるのだろうか」と患者さんとの関わりの中で様々な葛藤がありました。そこで、自分は看護師をしているうえで大切にしている「患者さんの思いをくみ取り、その思いを支える看護」という思いから患者さんの「挿管したくない」という思いを尊重すべきだと考えました。患者さんの思いを医師に伝え、医師もそれを了承し挿管はしないこととなりました。その

後、効果的と言われている腹臥位(うつ伏せ)の必要性を本人に説明し行つたに、呼吸苦が改善するよう環境を整えたり、周囲のことを最大限行わせてもらいました。それらのことを行うことで症状が改善し全身状態も回復し患者さんは無事に退院することができました。結果的に患者さんの思いをくみ取り、挿管せずとも病状が良くなり退院までいくことができました。これからこの事例のように様々な葛藤があると思いますが、自分の持つ看護観を大切にして患者さんと関わるのが大事であると再確認させてくれる場面であつたと思えました。(注1)挿管(気管挿管)・・・口または鼻から咽頭を経由して気管内チューブを挿入する気道確保方法



忘れられない看護エピソード

コロナ患者さんとの関わりで印象に残ったこと

〈高度治療室〉 古賀 啓太

眼科 医師 太田 純哉
北海道大学眼科より赴任してきました。円滑な診療を心がけて努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科 医師 山口 景子
初めまして。このたび、小樽市立病院より赴任いたしました山口と申します。至らない点も多々あるかと思いますが、精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科 医師 五十嵐 冬華
函館中央病院より赴任しました五十嵐と申します。空知地方に住むことは初めてで楽しみです。皆様のお役に立てるよう精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

麻酔科 医師 野口 俊介
初めまして、麻酔科の野口です。このたび、砂川市立病院に赴任いたしました。皆様にとって安心・安全な麻酔で手術が行えるように尽力し、貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

麻酔科 医長 富田 明子
1年ぶりに、砂川市立病院にて勤務させていただきます。安心・安全に手術を受けられるよう尽力したいと思います。よろしくお願いたします。

耳鼻咽喉科 医師 伊東 正文
生まれは神奈川、大学は大分、初期研修は長野で過ごしてまいりました。このたび、砂川に赴任させていただき、地域医療に貢献できるように努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医 篠原 翔平
初めまして。北海道大学出身の篠原翔平と申します。初期研修医として2年間お世話になります。至らない点ばかりかと思いますが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医 久世 瑞穂
初めまして。今年度から2年間初期臨床研修医としてお世話になります。まだまだ未熟者ではありますが、皆様の力をお借りして成長していければと思います。精いっぱい頑張りますのでよろしくお願いいたします。

臨床研修医 五十嵐 浩彰
静岡県出身、獨協医科大学(栃木)を経て北海道にきました。大学ではアイスホッケーをしていました。見知らぬ場所での暮らしに不安もありますが、1日も早く皆様の役に立てるよう日々精進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します!

臨床研修医 三本 佳一郎
皆様初めまして。初期臨床研修医として働かせていただきます。札幌医科大学出身、三本佳一郎と申します。未熟者ではございますが、皆様のお役に立てますよう鋭意努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医 三木 恭介
初めまして、札幌医科大学出身の三木恭介と申します。初期臨床研修医として2年間お世話になります。地域の皆様のお役に立てるよう、日々精進していく所存です。至らぬ点が多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医 古川 知怜
初めまして。4月より初期臨床研修医としてお世話になります。札幌医大卒の古川知怜と申します。至らぬ点も多々あるかと思いますが、皆様の学びを大切に、精励する所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医 山崎 清裕
初期研修医として幅広く疾患を学び、患者さん一人ひとりの希望や背景まで考え、寄り添いながら治療にあたらせていただきます。よろしくお願いいたします。

臨床研修医 三好 長
札幌医科大学卒の三好と申します。生まれ故郷の北海道で働けることに気持ちを新たにしております。社会人としても空知の人間としても新参者ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



4月から勤務しています私たちをよろしくお願いいたします。

病気のお話

「最近の脳梗塞と脳動脈瘤の治療」について

脳神経外科
センター長

こめいち
古明地

たかひろ
孝宏



脳神経外科 センター長
古明地 孝宏

脳卒中には、大きく分けて脳梗塞・脳出血・くも膜下出血の3つがあります。今回は、この10年で大きな変化がみられた脳梗塞と脳動脈瘤の治療法についてご説明いたします。

脳の血管に詰まった血栓を取り除く治療法

脳神経外科の外來で診察をしていますと、「突然脳の血管が詰まってしまおうのではないか」という不安を抱いている患者さんにお目にかかります。不整脈と言われたことがある人であれば、その危険は「そこそこ」あります。心房細動や発作性心房細動などの不整脈では、心房内に「血

栓」とよばれる血の塊ができやすく、それらがちぎれて脳に飛んでいくと脳梗塞になります。このタイプの脳梗塞は、比較的大きな血管が閉塞するため症状が重く、生命に危険が及ぶこともしばしばあります。「tPA」という血栓を溶かす薬が脚光を浴びた時期がありました。大きな血栓に対しては効果が弱く、満足のいく結果は得られていませんでした。しかし最近になり、脳の血管に詰まった血栓を直接回収することができるようになりました。「溶かす」のではなく、「取り除く」のです。これは脳血管内治療の一つで、「ステント型血栓回収デバイス（図1）」、「もしくは「吸引システム（図2）」を使用します。最近ではその両方を使いながら治療するケースが主流となっております。前者は、脳血管用に開発された特殊なステント（金属の網のようなも

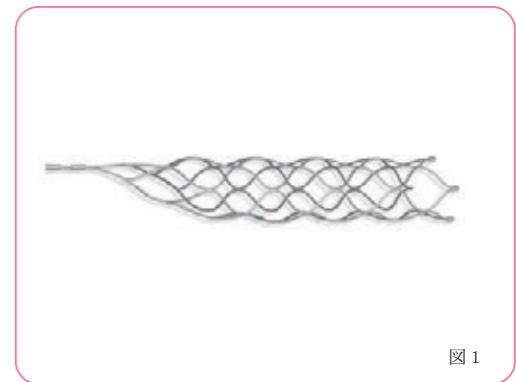


図1



図2

の）に血栓を引っかけて回収します。後者は極太の吸引カテーテルで、あたかも掃除機でゴミを吸い取るように血栓を取り除きます。どちらの方法も、その安全性と有効性が証明されており、この治療法によって「動かなかった手が動くようになる」、「言葉を発することができなかった患者さんが数時間後には会話ができるようになる」などの劇的な変化を目の当たりにするようになりました。ここで重要になってくるのが時間です。脳梗塞の場合、どんなに有効な治療にもタイムリミットがあり、それを過ぎると脳細胞は死んでしまいいく回復しません。そればかりか、出血を引き起こし、致命的な状態になることもあるのです。検査や治療の準備にかかる時間を考慮すると、発症から4時間以内には病院に到着していただく

てはなりません。左右どちらかの手足に力が入らない、呂律が回らないなどの症状に気づいたら、すぐに救急車を呼んでください。

脳動脈瘤を内側から修復する治療法（脳動脈瘤コイル塞栓術）が主役になりました

くも膜下出血という病気を聞いたことはあるでしょうか。脳の血管にできた動脈瘤が破裂して起こるとも怖い病気です、この病気になると半程度の方は死んでしまいます。脳動脈瘤は、破れてから治療する場合（くも膜下出血）と破れる前に対処するケース（未破裂動脈瘤）がありますが、治療はクリッピングという方法とコイル塞栓術という方法の2つがあります。前者は開頭手術です。外科的に頭蓋骨を外し、顕微鏡を使って脳動脈瘤の首根っこをクリップというチタンの金属でさみませす（図3）。1970年代から行われている治療法で、今も昔とさほど違いはありません。それに対して後者

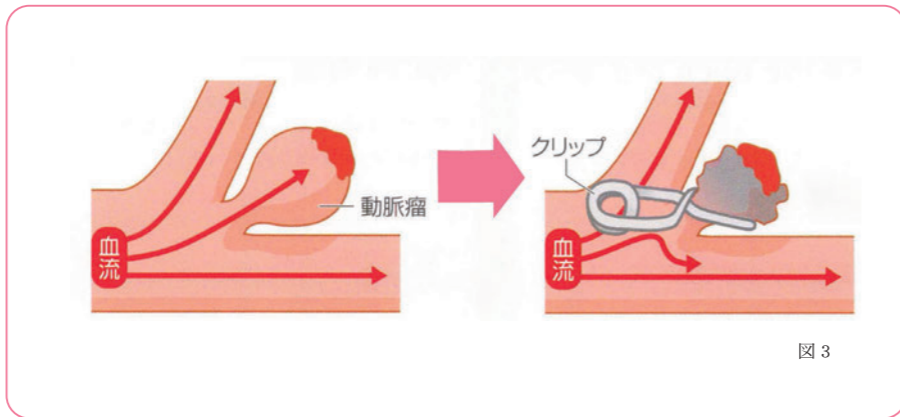


図3

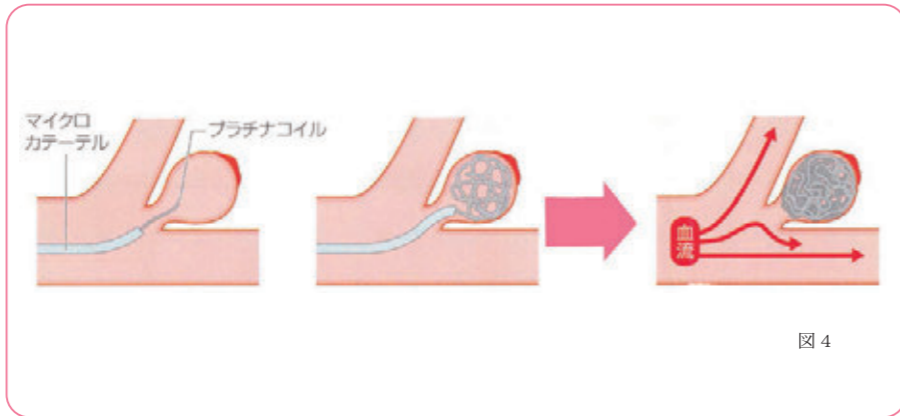


図4

は、脳血管内治療になります。カテーテルという道具を血管に挿入し、放射線の透視画像を見ながらプラチナ製のコイルという塞栓物質を瘤の内部に詰める方法（図4）です。この10年テクノロジーの進歩に伴い、技術と安全性が格段に向上しています。頭蓋

骨を外す必要がなく、体にかかる負担は外科手術に比べ圧倒的に少ないのが利点です。高齢者が多い中空知医療圏においては、とてもメリットになります。日本脳神経外科学会が行っている症例登録事業から、2020年の1年間に我が国で行われた脳動脈瘤治

療の件数は、血管内治療が1万5353件、クリッピング術が1万4341件となり、血管内治療がクリッピング術を初めて上回ったことが明らかになりました。当院では脳動脈瘤治療を行う場合、患者さんの希望を尊重しながら、コイル塞栓術を第一に推奨しております。ただし、この脳動脈瘤は破れる前で見つかるケースが多いのですが、破れる確率は思いのほか低く、年間わずかに0.5%程度です。治療するか、しないかは担当の先生とじっくりと話し合い、十分納得されてから治療されることをおすすめします。



栄養士
イチオシ!



菜の花



菜の花は、キャベツやブロッコリーと同じアブラナ科で栄養価が高く、優れた緑黄色野菜です。特有のほろ苦さがありますが、茹でると甘味が出てお浸しや炒め物などにおすすめです。

〜春の旬野菜〜
旬の野菜が美味しい理由 徹底解説

栄養素

皮膚や粘膜の健康維持に関わり、さらに病気やストレスへの抵抗力を強める効果が高いといわれるビタミンCを多く含みます。ほかにもビタミンB1・ビタミンB2・カルシウム・鉄分・食物繊維・カリウムなどを含み、これらは抵抗力を強め、貧血や便秘などにも効果が期待されています。

選び方

葉や茎がやわらかく、張りがあるもの。軸の中心まで緑色のもの。中心部が白くなっているものは老化しています。

保存方法

濡らした新聞紙などに包み、袋に入れ冷蔵庫の野菜室で立てて保存するのが望ましいです。冷蔵庫で保存中でも水分は減っていくため、2〜3日中に食べるのがよいでしょう。

料理

・菜の花とキャベツのパスタ
・菜の花のお浸し

ヒューマンスクランブル



とみた あやの
4階西病棟 看護師 富田 綾乃

4月から4階西病棟に配属となりました。現在は新人研修を行っており、看護師として必要な力やマナーなどを学んでいく中で、これから働いていく実感や自覚が湧いてきました。まだまだ、知識・技術不足でわからないことだらけですが、少しでも早く患者さんに信頼してもらえるような看護師になるため、先輩方にご指導をいただきながら、同期の仲間と支え合い、1歩ずつ成長できるよう日々精進していきます。



はせがわ しょうへい
教育研修センター 教育研修係 主事 長谷川 翔平

札幌学院大学出身です。趣味は、映画鑑賞やゴルフ・野球をすることなど色々です。社会人としての責任と自覚・感謝の気持ちを持って頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

「第10回病院祭」中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、病院祭の開催中止を決定いたしました。来年度の開催日等につきましては、改めてご案内いたしますので何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

NEW

認定 されました!

乳がん看護認定看護師 & 特定看護師



このたび、乳がん看護認定看護師、特定看護師として活動させていただくことになりました外来診療棟 鈴木幸枝と申します。

乳がん看護認定看護師

乳がんは女性のがん罹患率第1位であり、9人に1人が罹患し、ほかのがんと比較して家庭や社会で重要な役割を担う世代の女性に多くみられます(乳がん全体の約1%は男性乳がん)。乳がん治療は、乳がんのタイ

プや一人ひとりの状況や状態によって治療法が異なり多様化しています。そのため患者さんやご家族の不安や迷いに寄り添いながら、納得した治療ができるようサポートさせていただきます。いと思えます。そして、この地域で生活される乳がん患者さんが安心して病気と向き合い、その人らしく生活が送れるように医師・看護師・多職種と連携しサポートしていきたくと考えています。



特定看護師

特定看護師は、医師の手順書に従いリアルタイムに患者さんの処置や早期対応が可能で看護師です。私は、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(①持続点滴中の高力ローリー輸液の投与量の調整、②脱水症状に対する輸液による補正)と創部ドレイン管理関連(創部ドレイン(抜去)について実践するための必要な高度知識と技術を当院で実習し特定行為研修を修了し認定を受けました。今後、高齢化が進むことで慢性疾患や複数の疾病を抱える患者さんが増加し、長期入院や手術による筋力低下や認知機能低下によりリハビリが必要となる患

者さんが増加する可能性が考えられます。また、自宅で生活しながら医療を受ける患者さんも増加することが予想されます。高度急性期・急性期・回復期・慢性期・在宅医療のいずれの場合でも特定看護師の力が必要と考えられ、当院では様々な医行為ができる特定看護師を今後増員予定です。医療チームの一員として患者さんの状態に応じて、タイムリーに適切な医療を提供できるように特定看護師として患者さんやご家族の立場に立ち、治療と生活の両面から支援していきたいと考えております。患者さんやご家族の皆様、介入するうえでご協力いただき各関係者の皆様よろしくお願ひいたします。